

一般社団法人全日本学生柔道連盟だより

第25号

3期目の会長就任にあたって 冲永佳史

第32回オリンピック競技大会並びに東京2020パラリンピック競技大会の開催が目前に迫る矢先に生じた、新型コロナウイルスの蔓延は、スポーツ界全体、そして柔道界にも大きな影響を及ぼしております。オリンピックの開催の延期のみならず、2021年における開催も危ぶまれる状況下では、当然のことながら国内における各スポーツの大会運営、あるいは参加競技者の育成における方向性を見出す上で、様々な困難を克服しなければならない状況です。

このようななかで、3期目の会長を拝命いたしました。以前より全日本学生柔道連盟の目標として掲げている、国際交流や指導者研修、男女共同企画活動を通じて、指導者の育成や、特に国内における柔道参加者数の維持とともに、学生柔道を通じて社会に活力をもたらし人材、そして世界に通用する競技者を輩出するという軸はいささかもぶれることはないものの、新型コロナウイルスに潜むリスクを最小限にとどめつつ、当初の目的を果たしてゆくことは、容易ではないということを認識しているところです。

ことに、競技として注目される柔道の領域はコンタクトスポーツであり、これは新型コロナウイルスの感染を防止するという観点からは相いれないものであり

ます。しかしながら、柔道が持つ精神や、トレーニングを通じた心身の鍛錬、あるいは生涯スポーツとしての柔道が持つ利点は、ある程度柔道の外形を変えたとしても引き継いでゆかなければならないものであると考えます。そのためにも、学生柔道に関わる多くの方々の知恵とともに、そこから生み出される斬新な考えを着実に実行する行動力が欠かせません。

学生柔道に関わる皆様におかれましては、柔道が掲げている「精力善用自他共栄」の行動様式をもって、参加するすべての柔道関係者の安全を確保し、コンタクトスポーツとしての柔道のみならず、教育的観点として競技力向上の観点における人材育成において、さらには柔道そのものが持つ美しさを、この機会に改めて確認し、これらをより多くの方々に認知していただくべく、未曾有の環境下であっても、新たな方法を開拓し、多面的に活動を展開していただきたいと強く願うものであります。

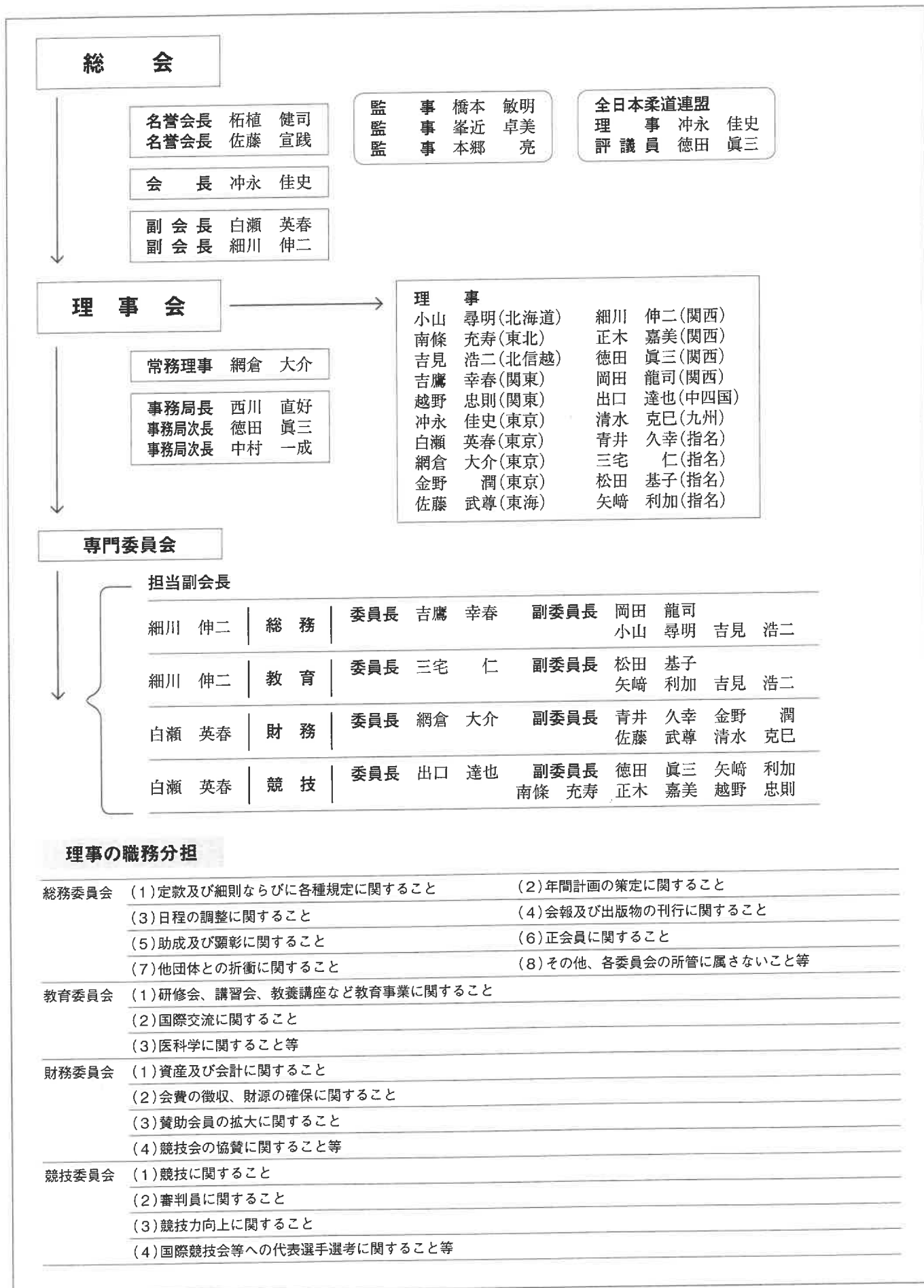
また、しばらくは続くと思われるこの難局のなかで、大変残念ではありますが、現在における社会環境を鑑み、本連盟の理事の皆様とも議論を重ねた結果、2020年度の全国大会はすべて中止にせざるを得なくなりました。しかしながら、オンラインを通じた各

研修や、新たな企画を策定し、着実に実施できまわりましたので、この経験を生かした取り組みを将来にわたって行つてゆく所存です。

そして、2021年度は、新型コロナウイルスのリスクを低減しうる、感染制御や対処療法、安価で精度の高い検査法をはじめ、様々な知見が蓄積され、今後ワクチンの接種が開始されるなかにあつて、例年通り3大会開催を目論んでいるところであります。大会規模や開催要件について詰めを行い、参加する学生諸君、大会関係者の安全を最大限に考慮しつつ具現化に向けて動き始めておりますが、このためには、関わる学生一人ひとり、そして指導者、大会運営者の細心の注意が欠かせないことは言うまでもなく、ここでも真に「精力善用自他共栄」の精神が必要とされるのであり、柔道家としての真骨頂を発揮していただきたいと思っております。

甚だ微力ではございますが、引き続き皆様にご協力をいただきながら、全日本学生柔道連盟の活動を担つてまいりたいと考えておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

一般社団法人 全日本学生柔道連盟 組織図 (2020-2021)



北海道

2019年度、当連盟の加盟状況は名寄市立大学の退会と北海道科学大学短期大学部の再加盟により、2018年度同様の加盟17校、部員数については271名でした。今年度の加盟は17校のままで、部員数は、256名でした。いずれにしても、加盟校数、部員数を増やす方法はないか、検討をさらに進めていかなければならないと考えています。

2019年11月24日に行われました第55回北海道学生柔道新人大会（有段の部の無差別試合、無断の部の無差別試合）において、有段の部の優勝者・準優勝者を、現在の段位から1段昇段させる、また、無段の部の優勝者を初段に昇段させてはどうだろうか、北海道柔道連盟と札幌柔道連盟の役員の方からのご提案があり、いろいろと検討を重ねた結果、参加人数・試合数・現在の昇段年月日等の条件を満たすこと（北海道学生柔道連盟新人大会における昇段に関する取扱要領）により、施行されることとなりました。学生にとっては大会へのモチベーションがさらに上がることになり、両連盟に感謝申し上げます。

北海道学生柔道連盟は昭和26年9月に設立され、令和3年度（2021年度）に設立70周年を迎えることになることから、北海道学生柔道連盟70周年記念誌を令和3年12月に発刊することが、3月の理事会で承認され、編集委員のもと、作業が開始されました。

役員の関係では、昨年5月に当連盟参与の川田一友先生が、同じく8月に当連盟参与の小田島武志先生がご逝去されました。お二人の先生におかれましては、

長年当連盟のためにご尽力をいただきました。ご冥福をお祈りいたします。

当連盟では5つの大会を予定しています。5月30日に北海道学生柔道優勝大会、8月29日に北海道学生柔道体重別選手権大会、翌30日に北海道学生柔道団体優勝大会、そして11月29日に北海道学生柔道新人大会と北海道学生女子柔道階級別選手権大会です。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されることから、全国大会がすべて中止となったことに加え、北海道の各大学の授業及び練習の再開が完全に行われていないことから、ケガの発生の懸念、各大学の対外試合が許可されていないこと、選手はじめ大会関係各位の安全等も考慮した結果、北海道における本年度の大会がすべて中止となりました。今後は、来年の大会に向けて、各大学において可能な範囲での練習に励んでいただきたいと思います。

（事務局長 安達昭弘）

東北

1. 役員について

今年度は、役員改選の年度であったが、現状維持とし、昨年度の体制と同様に高橋会長、南條理事長のもと滞りのない連盟運営を行っていく。

（任期：2020/4/1～2022/3/31）

名誉会長 遠藤 純男（前会長）
顧問 佐々木武人（元会長、福島大学）
会長 高橋富士男（東北学院大学）
副会長 佐々木安廣（富士大学）

副会長 三戸 範之（秋田大学）
副会長 高橋 俊哉（弘前大学）
理事長 南條 充寿（仙台大学）

副理事長 大関 貴久（東日本国際大学）
副理事長 阿部 文智（東北学院大学／事務局長兼務）
監事 伊藤 周（東北大学）
監事 奥村 俊樹（青森中央学院大学）

事務局次長 阿部 文智（東北学院大学／副理事長兼務）
事務局次長 川戸 湧也（仙台大学）
学生委員長 小野 優樹（東北学院大学）

2. 全日本学生柔道体重別選手権大会の秋田県開催

昨年度は全日本学生柔道体重別選手権大会（男子38回、女子35回）が秋田県立武道館での開催となった。開催にあたり本連盟が東京学連とともに大会主管をすることになったが、地元秋田県柔道連盟（遠藤純男会長）には、多大なご協力をいただいた。本連盟事業担当副会長であり、秋田県柔道連盟の三戸範之理事長には、全日本学連及び東京学連とのパイプ役や秋田県との調整役としてご尽力いただいた。この紙面をお借りし、感謝申し上げます。

また、全日本学生柔道連盟、東京学生柔道連盟の皆様にも、毎度ながらご尽力とご協力をいただいた。重ねて感謝申し上げます。

3. 新型コロナウイルス感染症の影響

全国において同様であるが、新型コロナウイルスの影響は、東北においても各大学の部活動の停止や大学閉鎖など関東圏ほどではないにしろ受けている。他地区と同様に東北学生柔道優勝大会は中止になった。いまだ終息が見えてはいないが、今はじっと耐えるほかないと考えている。

（事務局長 阿部文智）

北信越

新型コロナウイルス感染症の災禍の取り組み

北信越学生柔道連盟では、新型コロナウイルス感染症による感染拡大に伴う政府の緊急事態宣言以降、全日本柔道連盟のガイドラインに基づき、各県柔道連盟及び各所属大学の指導のもとに活動しました。7月5日に臨時常任理事会を開催し、本年度の事業案について慎重に審議し、その結果、北國杯北信越学生柔道体重別選手権大会（男子39回、女子32回）の日程調整と令和2年度北信越学生柔道体重別団体優勝大会の中止が決定されました。この会議では、とにかく『学生の安全を確保することが第一であり、無理に練習を再開することや試合を設定することはしない』という方針が全員の出席者で確認され了承されました。

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言に伴う練習の長期間中止は、恐らくほとんどすべての大学が初めて経験することで、学生の体力がどれくらい低下しているのか？ 復帰に要する時間はどれくらい必要か？ 安全に試合をするためには準備までどれくらいの間が必要か？ という問題と未知の病気である新型コロナウイルス感染症の感染リスクをどこまで減らして大会運営ができるのか？ という課題、さらには、大会開催にはどのような条件を整えば実施できるのかを慎重に審議しました。幸い、当連盟の常任理事・松永大吾（全日本柔道連盟・医科学委員）先生がテレビで会議に出席し、ドクターとしての見地からの確かなアドバイス・指導を行いました。「感染状況が収まった期間内であれば、各県の行政・加盟大学の方針

に基づいた大会実施は可能』であるとの判断と『準備は万全にするが、万が一の時は大会当日であつても中止する』という意思統一が確認でき、実施に踏み切りました。

大会開催の準備は、ソーシャルディスタンスの確保を最優先の課題とし、不測の事態に備え、濃厚接触者の特定や保健所への届け出までも想定したもので行いました。当日は、選手の検温、健康観察調査票の確認、入場誘導などすべての場面で現場の先生方の力強い指導のもと、選手、役員が一体となり、すべての試合を滞りなく終了しました。さらに、大会終了後、会食や外部との交流を制限し2週間の経過観察の期間も終了し、一人の感染者も出なかったことを確認して大会を無事終了することができました。

まったくの手探りの状態でこのような環境下にもかかわらず大会を実施できたことは、石川県柔道連盟の審判員の方々、選手、大会補助員、大会役員その他ご協賛をいただいた企業の方々など関係するすべての方々のお陰と心より感謝申し上げます。

『第1回北國杯全国学生柔道オンライン形競技大会』を開催しました。この大会は、日本では初めての運営方法による大会で、学生から送られてきた『形』のビデオを見て、審査し、オンライン上で大会を開催するものです。当初は、ライブ中継しながら審査する方法を検討しましたが、想定されるトラブルを考慮した場合、審査の中断も起こり得ることから断念し、ライブ中継による形競技会については今後の課題となりました。

全日本柔道連盟・形部会の松井勲先生にご指導をいただき、全日本柔道連盟公認資格保持の審査員の方々

を迎えて実施する運びとなりました。大会開催の案内を12月2日に行いましたが、その後、首都圏、大阪府などに緊急事態宣言が発令され、また、日本中で新型コロナウイルス感染症の感染拡大が急激に起こり、多くの大学でクラブ活動の停止や校内への立ち入り禁止が続くなか、2月7日の申し込み締め切りを終えた大学関係者には心よりお礼申し上げますと共に審査員の推薦などの調整にご協力いただきました全日本柔道連盟の小貫紗綾子氏に心より感謝致します。大会の申し込みまでがようやく終了し、2月14日に審査員の打ち合わせが行われた後に、各形の審査が行われ、得点の集計、成績発表という流れで、大会が進行していく予定です。

今大会の形の審査は競技という側面とそれぞれ演武された形の指導という側面を担っています。競技では、点数を競うものですが、指導では、演武された形について各審査員が形の技術向上や練習・心構えなどをコメントし、日頃の形練習に役立つように指導するというものです。これは、当連盟の形競技大会開催の趣旨として、新型コロナウイルス感染症の災禍のなかで行える大会としての競技会開催と競技会を通しての学生の形技術向上の2点を掲げ実施したものです。大会結果及び、運営その他の改善事項は後日この書面に公表させていただきます。

当連盟の取り組みを叩き台とし、いろいろな団体で形の競技会やオンラインでの大会実施を企画・運営する動きが出てくることを期待したいと思います。

関東

本年2月に行われた2019年度関東学生柔道連盟総会において、役員改選が行われ、小俣幸嗣先生を会長とした5期目の体制が整えられた。

会長 小俣 幸嗣 (筑波大学)

副会長 柏崎 克彦 (国際武道大学)

木村 仁 (神奈川大学)

野瀬 清喜 (埼玉大学)

中村 一成 (防衛大学校)

理事長 吉鷹 幸春 (桐蔭横浜大学)

副理事長 越野 忠則 (国際武道大学)

三宅 仁 (平成国際大学)

理事 木村 昌彦 (横浜国立大学)

岩崎 卓 (流通経済大学)

岡田 弘隆 (筑波大学)

矢崎 利加 (国際武道大学)

廣川 充志 (桐蔭横浜大学)

山部 伸敏 (山梨学院大学)

小山 勝弘 (山梨大学)

高橋 進 (関東学園大学)

山田 利彦 (了徳寺大学)

野瀬 英豪 (淑徳大学)

増地 克之 (筑波大学)

岡 明日香 (桐蔭横浜大学)

熊田 祥江 (新・帝京平成大学)

監事 石井 兼輔 (国際武道大学)

市川 邦臣 (城西大学)

事務局長 秋山 修一 (城西国際大学)

事務局次長 今井 学 (千葉工業大学)

奥田 修平 (新・清和大学)

本連盟のさらなる発展のためにご尽力いただきました。さて今年度の事業計画は、ご承知の通り、新型コロナウイルスの影響により、大きく変更せざるを得なくなりました。首都圏では依然として感染者が一定数報告されており、加盟各大学においても一部の大学では7月現在でも学内入構禁止措置がとられている。当連盟では加盟大学の活動状況を把握し、全柔連ガイドラインに沿った活動を呼び掛けている。

学生大会のみならず、全国的にも大会の延期や中止が発表されているが、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を、どのように柔道に取り入れ反映していくかが喫緊の課題であると考えられる。何より一日も早く普段の日常を取り戻し、学生達が豊かで有意義な学生生活を送れるよう願っている。

(関東学生柔道連盟事務局長 秋山修一)

東京

東京学生柔道連盟では本年度は役員改選が行われ、白瀬英春会長が再任、併せて下記の通り執行部が決定されました。世の中はコロナウイルスの影響によってオリンピック、多くのイベントの延期、中止が決まり大変先行きが見えない状況となっておりますが、一同気持ちを入れなおし各事業運営開催に向けて準備を行っております。各加盟校との連携をより深めていくために、充実した体制を目指して参ります。

1. 組織運営

連盟運営の方向性を示す「運営ガイドライン」を従来通り策定し、自主財源ベースの運営を目標におきます。

2. 財務状況

現在、安定財源確保のために、佐藤前々会長が提唱され高木前会長、白瀬会長に引き継がれた「Come Back 柔道連盟サポーター(賛助会員)」は毎年多くのご加入をいただき、連盟事業にも会員の皆様に多数来場いただき実をあげております。今後はコロナ対策を踏まえホスピタリティを向上させていきたいと考えております。

3. 教育普及

これからもコロナウイルスの状況によっては事業が延期または中止することもあると考えられますが、これまで成果を挙げて参りました海外研修事業を引き続き実施に向けて模索してまいります。国際人の育成を連盟全体に波及させていくことも含めて、充実させていきます。また、学生柔道の裾野を広げ、かつ技術的な向上を目的として事業化しております。「柔道出前講座」もオンライン方式も含め実施予定です。さらに社会貢献・奉仕の心を養うために、例年通り全国視覚障害者柔道大会の運営協力も行う予定です。

本年度も学生役員を中心とした運営を心がけ、新事業にも積極的に取り組んでいきたいと考えております。

4. 新役員(任期は規約により2年)

会長 白瀬 英春 (東海大学)

副会長 大八木 諭 (中央大学)

石原研二郎 (東京大学)

森脇 保彦 (国士館大学)

鈴木 良則 (法政大学)

金野 潤 (日本大学)

網倉 大介 (日本大学)

名誉顧問 佐藤 宣践 (東海大学)
 理事長 網倉 大介 (日本大学)
 副理事長 西川 直好 (法政大学)

廣瀬 伸良 (順天堂大学)
 青井 久幸 (中央大学)
 橋本 敏明 (東海大学)

監事 藤根 崇雄 (専修大学)
 池田 悦雄 (法政大学)

事務局長 甲斐 隆文 (日本大学)
 総務事業委員長 瀧本 大成 (慶應義塾大学)
 総務事業副委員長 穴井さやか (帝京大学)

財務委員長 渡辺 崇 (日本体育大学)
 財務副委員長 青井 久幸 (中央大学)

普及委員長 大原 友里 (立教大学)
 普及副委員長 佐藤伸一郎 (拓殖大学)

高橋 歩 (専修大学)
 佐藤 愛子 (東京女子体育大学)

学生統括委員長 細田 明 (日本体育大学)
 (東京学生柔道連盟 理事長 網倉大介)

私たち東京学生柔道連盟は、連盟に加盟する大学によって構成され、学生の代表であるという自覚を持ち、学業との両立を図りながら、日々活動を行っております。

今年度はコロナウイルスの影響によってオリンピック、パラリンピックの延期、当連盟が主管する2020年度全日本学生柔道優勝大会(男子69回 女子29回)、2020年度全日本学生柔道体重別選手権大会(男子39回 女子36回)、の2大会が大会史上初となる中止、地区大会の延期・中止等もあり、大会の準備を行うことも難しい状況でありました。学生柔道界も先行きが

見えない状況となっておりますが、私たちのやるべきことはこれまでと変わらずスムーズな連盟運営、大会を行いこれからの学生柔道の発展に尽力していくことであります。

昨今、各メディアにおいてコロナウイルスの影響が出るなか柔道のみならず、スポーツ界の全体のあり方が取り沙汰されていますが、そのようななかで柔道マインドを忘れず一日でも早く穏やかな日常を取り戻し、柔道の稽古に励む環境づくりができるよう尽力していきたいと思えます。また、来年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、学生柔道から柔道界、スポーツ界を盛り上げていけるよう、学生委員一丸となって精一杯準備を進めていきます。

各地区学生柔道連盟並びに関係者の皆様には今後一層のご理解、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。
 (東京学生柔道連盟 学生委員長 藤原 壮史)

東海

長きに渡り本連盟にご尽力されました長谷川優先(中京大学名誉教授)が、2020年4月にご逝去されました。ここに改めて哀悼の意を表するとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

今年度は役員改選が行われ、現職者の再任が承認されました。これまでの構想をさらに具現化するべく、役員一同が力を合わせて取り組んでまいりたいと思えます。とりわけ、時代に即したスピード感のある意思決定と、主役である学生柔道家のさらなる発展に寄与すべく活発な議論を展開していきたいと考えます。

昨年度は、本連盟で伝統的に実施してきた東海学生(女子)柔道冬季優勝大会において、大会の意義と目的を再考し運営方法を大幅に見直すとともに、審判をはじめとした運営主体を学生中心にするなど大きな一歩を踏み出しました。大会前に実施した辻本理事(近畿大学工業高等学校教員)による学生向けの審判講習会には、大会に集まったすべての学生が参加し、活気あるものとなりました。今年度はさらなる改善を図る予定をしています。

2020年は、東京オリンピックに沸く年になるはずでしたが、新型コロナウイルスが激烈な猛威をふるい、日本だけでなく世界中が未曾有の危機に直面しています。柔道界においても多くの大会や行事の中止・延期を余儀なくされ、学生だけでなくすべての柔道家が活動の自粛と行動の制限を強いられています。想像を絶する出口の見えない状況が続き、すべての人が悶々とする日々を過ごしている状況ではあります

が、いままそ柔道修行究竟の目的である「己の完成」と「世の補益」を移行に移すときであります。それを体現できる学生の育成が本連盟の大きな柱の一つです。引き続き東海学生柔道連盟一丸となって取り組んでいく所存です。(東海学生柔道連盟 副理事長 久野高裕)

1. 役員

- 会長 竹内 外夫 (中京大学名誉教授)
- 顧問 関 巖 (名城大学名誉教授)
- 理事長 佐藤 武尊 (皇學館大学准教授)
- 副理事長 久野 高裕 (愛知大学職員)
- 副理事長 三宅 恵介 (中京大学准教授)
- 事務局長 福井 博泰 (名城大学職員)
- 事務局次長 細木 勁吾 (同朋大学職員)
- 監事 柴田 光徳 (元愛知学院大学職員)
- 監事 小林 秀明 (名古屋商科大学OB)
- 学生委員長 木下 翔太 (皇學館大学)
- 学生副委員長 阿部 翔太 (皇學館大学)
- 学生副委員長 前田 真規 (中京大学)
- 事務局補佐 橋本 龍輝 (名城大学)

2. 行事予定

- (コロナ禍の影響を考慮して延期・中止の可能性あり)
- 第67回 東海学生柔道夏季優勝大会
- 第27回 東海学生女子柔道夏季優勝大会
- 開催日未定 於：愛知県武道館
- 第39回 東海学生柔道体重別選手権大会
- 第37回 東海学生女子柔道体重別選手権大会
- 8月30日(日) 於：愛知県武道館
- 第68回 東海学生柔道冬季優勝大会
- 第13回 東海学生女子柔道冬季優勝大会
- 12月6日(日) 於：中京大学豊田キャンパス
- 3. 昨年度大会結果 (団体優勝校)

- 第66回 東海学生柔道夏季優勝大会
- 7人制 名城大学
- 5人制 近畿大学工業高等専門学校
- 第26回 東海学生女子柔道夏季優勝大会
- 5人制 中京大学
- 3人制 名城大学

- 第67回 東海学生柔道冬季優勝大会
- 一部 皇學館大学
- 二部 近畿大学工業高等専門学校
- 第12回 東海学生女子柔道冬季優勝大会
- 中京大学

4. 学生委員長 (木下翔太) の抱負

今年度、学生委員長を拝命いたしました、皇學館大学4年生の木下翔太と申します。昨年度、東海学生(女子)柔道冬季優勝大会にて、前学生委員長のもとで、大会運営の手伝いをさせていただきました。この大会は、審判をはじめとした運営主体を学生中心に行うなど、新たな試みがなされていきました。この大会の運営を手伝わせていただき、学生が大会運営に様々な形で関わっていることに気づきました。審判をはじめとした運営主体を、学生中心にというのは、前学生委員長が「学生が主体的に大会運営を行いたい」という意志があったからこそ実現したと思います。そのため、前委員長をはじめとする、これまで大会運営をしていただけてきた、学生の方々が作り上げた「学生が主体的に大会運営を行う」という意志を引き継ぎ、また、これまで以上に主体的に大会運営を行えるよう、2名の学生副委員長と共に頑張っていきたいと思っております。これから学生委員長として、学生の代表である自覚を持ち、精一杯頑張っていきますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

1. 2020年度大会

(1) 2020年度関西学生柔道連盟主催大会【中止】

■関西学生柔道優勝大会 (男子70回 女子29回)

5月31日(日)

ペイコム総合体育館「尼崎市記念公園」

【日程・会場変更】

■関西学生柔道体重別選手権大会

(男子39回 女子32回)

12月5日(土)・6日(日)

ウイंक武道館「兵庫県立武道館」

(2) 2020年度関西学生柔道連盟主管大会【中止】

■全日本学生柔道体重別団体優勝大会

(男子22回 女子12回)

10月17日(土)・18日(日)

ペイコム総合体育館「尼崎市記念公園」

2. 本年度を振り返って

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度関西学生柔道連盟主催、主管する大会のほとんどが中止や延期となりました。大学ごとに差はあるものの、十分な稽古もできない日が多く、やるせない気持ちであったと思います。とくに4年生には悔しい思いをした方も多かったです。我々関西学生柔道連盟も、1回目の緊急事態宣言時は、試合が開催できなかったのでおはつきりとしないうまま2カ月近く作業ができない状況でした。試合がないうまま1年が終わってしまうのではないかと考えていましたが、昨年12月の初旬に関西学生柔道体重別選手

権大会を無事に開催することができました。

例年と違い、何かと気を遣うことが多く、また準備にかけた時間も相当なものになった大会でしたが、選手や役員の皆様による協力のおかげで1人の感染者も出さずことなく終えることができました。改めて選手を含む関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

これからの見通しがほとんど立っていない世の中ですが、学生幹事一丸となって日々の業務にあたっていたいと思っております。関係者の皆様には今後ともより一層のご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。

3. 連盟役員紹介

会長 近藤 徹

副会長 細川 伸二

正木 嘉美

峯近 卓美

理事長 正木 嘉美

〈学生役員〉

幹事長 南 信次

副幹事長 梶谷 壮太

常任幹事 石名田侑希、細川 健太、平野 彩弥

伊差川 颯、東 優成、福井 健太

佐藤 拓見、門田 優吾、馬場 柔剛

中国四国

まず始めに、当連盟の発展に多大なるご尽力をいただきました副会長の吉岡剛先生が2020年2月23日に逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

す。

さて、中国四国学生柔道連盟は、2月22日に常任理事会を開催し、役員改選と2020年度の行事日程等を承認しました。役員改選では、永廣信治会長をはじめ、大谷崇正副会長、出口達也理事長が再任され、さらなる飛躍的な1年になることと思っております。

2020年度は、広島県で開催予定の全日本学生柔道優勝大会に全国から多くの大学生が来広し、熱戦が繰り広げられることを心待ちにしておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止が決定し、選手をはじめ関係者も残念に思っております。

そうしたなかでも、徐々に感染症も収束しつつあり、各大学も活動再開に向けて、柔道ができる喜びを感じられていることと思っております。少しでも早く終息することを願っております。

当連盟も加盟校が一丸となって、魅力ある連盟と発展していきたいと思っておりますので、引き続き、よろしくお願いたします。

(中国四国学生柔道連盟 事務局長 梶津良仁)

九州

九州学生柔道連盟は、2020年度の行事を次の通り予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月上旬には定例総会を延期、優勝大会、体重別選手権の中止を決定しました。

5月23日 定例総会(延期)

5月23・24日 2020年度九州学生優勝大会

(男子69回・女子29回)【中止】

8月29・30日 2020年度九州学生柔道体重別選手権大会

(男子64回・女子34回)【中止】

7月に行われた、全日本学生柔道連盟理事会の結果を踏まえて、当連盟理事会を7月18日に招集し、延期していた総会議題(収支決算・役員改選・行事予定・収支予算案)の審議を行いました。その結果、理事の承諾をいただき、書面による総会にて、承認をいただきました。

1. 収支決算報告

2. 役員改選

新役員については、会則に従い理事を選出。理事名簿を作成し賛否を問う。名誉会長に藤田弘明氏を推薦。理事のなかより会長・副会長・常任理事を決定する。

3. 行事予定

4. 収支予算案

承認の回答をいただき、可決しました。

当連盟では、新型コロナウイルス感染症の社会的影響から、九州大会及び全国大会がすべて中止になった場合でも、4年生及び学生のために、九州大会を開催したいとの要望を受け、加盟大学にアンケートを行い、新理事会及び総会にて精査する予定です。また、新執行部についても、以下のように決定する予定です。

会長 中原 一

副会長 安河内春彦

羽田野節夫

理事長 清水 克己

副理事長 小澤 雄二

房前 善行